

生月まち協 だより

第31号

令和元年11月15日発行



生月地区まちづくり
運営協議会

TEL/FAX 0950-29-9080



新日本歩く道紀行100選絶景の道ハイキングより

事業を開催しました

新日本歩く道紀行100選 絶景の道ハイキング



11月2日（土）秋晴れのなか『新日本歩く道紀行100選 絶景の道ハイキング』を開催しました。

町内外から80名が参加し、生月の素晴らしい絶景を楽しみました。

女性部会員による炊き出しが行われ、ハイキング終了後にはカレーや刺身などを堪能しました。

ハイキング前10月19日に予定おりました、御崎遊歩道の除草作業は荒天のため中止となりましたが、

10月27日（日）に部会員有志のご協力により、実施しました。



集団避難訓練

11月10日（日）『生月地区住民集団避難訓練』を実施しました。生月小学校区より800名を超える住民の方にご参加いただき、9時30分の防災無線放送後、徒歩やリヤカーなどを使い避難場所を目指しました。第二次避難場所に集合後には、各区長より講評をし、各区にて様々な訓練をしました。この訓練を通し、いざという時に備えていただければと思います。





プロレスラー現る！！



10月25日（金）認定こども園めばえにて現役プロレスラーとの交流会が行われました。九州を中心に活動している『めんたい☆キッド』さんは九州プロレス選手権でもチャンピオンになったこともある強者。園児たちも間近で見る筋肉隆々の体に興味津々で、力比べなどをして交流を楽しみました。



生月小学校

芸術の秋

生月中学校



11月1日（金）生月小学校にて『学習発表会』が行われました。たくさんの保護者や地域の方が見守る中、各学年趣向を凝らした発表を行いました。学年の代表による俳句発表会も行われ、子どもたちの感性に驚く場面もありました。訪れた方は「どの学年もよく工夫されていて楽しい発表会だった」と笑顔で話しました。



11月8日（金）生月町開発総合センターにおいて生月中学校による『生月文化の日』が開催されました。2部構成で行われ、第1部を総合学習、第2部を合唱コンクールとし発表しました。中でも注目されたのが、3年生による『ミュージカル ライオンキング』。半年かけて準備した発表はプロ顔負けの仕上がりで、観客の感動と涙をさそいました。

おしらせ

いきつき勇魚まつり開催！

みんなであそびにきてね！



詳しくはこのチラシで！

11月23日（土・祝）に『いきつき勇魚まつり』が開催されます。生月の物産販売に加え、ステージでは生月小学校鼓笛隊や大道芸人、バルーンアートの方が初出演！今年もちんどんかわち家さんが会場を盛り上げてくれます。たくさんのご来場をお待ちしています！



喫茶店来なりよ

10月15日（火）生月町中央公民館において『喫茶店来なりよ』を開催しました。認定こども園めばえの園児といっしょに間違い探しや輪投げなどで大いに盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。



今後開催予定

11月27日(水) 御崎コミュニティセンター
10:00～11:30
12月14日(土) 元触地域交流センター
10:00～11:30



次回11月27日（水）は昔の生月映像上映会を予定しております。
お茶を飲みながら、たくさんの思い出と一緒に語りませんか（^▽^）



日付	曜日	行事	場所
11月			
17日	日	生月町文化祭 音楽芸能部門発表会	生月町開発総合センター
23日	土(祝)	いきつき勇魚まつり	生月支所前漁港用地広場
26日	火	年金相談	生月支所(10:30～15:00)
27日	水	喫茶店 来なりよ	御崎コミュニティセンター
12月			
7日	土	認定こども園めばえ 生活発表会	認定こども園めばえ (9:30～)
14日	土	喫茶店 来なりよ	元触地域交流センター

編集後記

今月2日に開催しました「絶景の道ハイキング」には、たくさんの人の参加があり生月の自然を満喫してくれました。今回は大バ工灯台から宝倉神社までの4.3kmを歩きましたが、距離的には短そうでも生月島特有の上り下りばかりで歩くのは少々難儀だったと思います。

かくゆう小生も事前の下見と準備のため出っ張っているおなかをゆさゆさと揺らしながら3回ほど歩いてみましたが、毎回足が棒になりました。

なるほど「新日本歩く道紀行100選」に選ばれているだけあって、眺めは抜群です。断崖の上を歩くのですから周りは海ばかりの景色かと思いきや以外にも自然歩道の多くはうっそうとした森の中を歩くのです。

しかし、その森を抜け眼前に玄界灘と奇岩がたどる生月の海岸線がぱっと広がると、それはいかようにも例えようのない光景です。生月の自然の懐の深さを知らされた瞬間でした。

こんな素晴らしい景観を小生たちは子や孫やそのまた次の世代に紡いでいかなければならないのだなと痛感した次第です。さあ、次は、生月のメインイベント『勇魚まつり』です。多くの皆様のお越しを願いつつ、気持ちを引き締めている今日この頃です。（学）

